

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月14日 (2008.2.14)

【公表番号】特表2003-518160(P2003-518160A)

【公表日】平成15年6月3日 (2003.6.3)

【出願番号】特願2001-546852(P2001-546852)

【国際特許分類】

C 1 1 B 1/10 (2006.01)

B 0 1 D 11/02 (2006.01)

B 0 1 D 11/04 (2006.01)

C 1 1 B 3/16 (2006.01)

C 1 1 B 11/00 (2006.01)

【F I】

C 1 1 B 1/10

B 0 1 D 11/02 A

B 0 1 D 11/04 C

C 1 1 B 3/16

C 1 1 B 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月19日 (2007.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

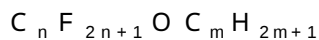
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原料中に含有される脂肪質を抽出及び分別する方法において、この方法が、一般式 (I) :



[式中、n は、3 ~ 6 であり、m は、1 ~ 5 である] で示される少なくとも 1 つのハイドロフルオロエーテルにより形成される抽出溶剤を使用する少なくとも一度の抽出段階と、不鹸化物に富む脂肪質の粗抽出物、又は不鹸化物及び遊離脂肪酸に富む脂肪質の粗抽出物と、不溶性の抽出画分とが得られる少なくとも一度の分離段階を含むことを特徴とする抽出・分別法。

【請求項 2】

前記方法は、前記粗抽出物中に存在するトリグリセリドに対して選択的である沈殿段階を含み、前記沈殿段階は、前記粗抽出物を抽出温度より低い温度に冷却し、次いで、前記粗抽出物を濾過して、沈殿抽出物と濾液を得ることからなることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記濾液をデカントし、次いで蒸発させて、可溶性抽出物を回収することからなる付加的段階を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

アルカン、ケトン、アルコール、アルキルエーテル、カルボン酸、エステル、アミド、ハロゲン化炭化水素、アセタールから選択される、少なくとも 1 種の補助溶剤の存在下で使用されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。